

就任のごあいさつ



企業長(北本市長)
現王園 孝昭

初夏の爽やかな風が心地よい季節となりましたが、市民の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃、桶川市、北本市の市民の皆様には、水道事業につきまして深いご理解、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。

さて、この度、平成29年5月1日をもって企業長に就任いたしました。

水道は健康的な日常生活や社会経済活動を営む上で必要

不可欠であり、重要なライフラインであります。

しかし昨今は、節水型社会の到来や少子高齢化、人口減少等により水需要が低迷し給水収益が減収する中、高度経済成長期に急速に整備された水道施設が更新時期を迎え、今後施設の整備や耐震化への対応が急がれてより大変厳しい経営環境となっております。

さらに、記憶に新しい熊本地震など近年頻発する大規模地震に備えて、安全で安心な

水を安定的に供給するため、災害に強い水道システムを構築する必要に迫られております。

このような事業経営の変化に適切に対応するため、当企業団ではさらなる見直しを図った水道事業基本計画(水道事業ビジョン)に基づき、「持続」、「安全」、「強靱」な水道事業を目指して、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組んでいるところです。

これからも水道事業の未来をしっかりと見据えながら、

安定した事業運営を持続することができまますよう、副企業長共々全力で取り組む所存であります。なにとぞ市民の皆様の一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



副企業長(桶川市長)
小野 克典

日頃より水道事業に対し、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本年4月より、2期目の桶川市政を担わせていただくこととなりました。桶川北本水道企業団においては、平成25年から副企業長として、また、平成27年からは企業長として務めてまいりましたが、この度、5月1日より現王園北本市長と企業長を交代し、副企業長に就任いたしました。

水は私たちが生活する上で

欠かせないものであり、経済活動を支える上でも大変重要な役割を果たしています。それゆえに、いつでも安全・安心な水を安定的に提供することが、水道事業者としての最大の使命と感じております。

また、近年の利根川水系水源流域の雪不足や少雨などの気候変動の影響による渇水や、昨年の熊本地震でも見受けられた災害時における水の確保と安定供給等といった、新たな課題にもしっかりと対

応していかなくてはなりません。

一方で、少子高齢化や節水型社会等の到来により、水需要が低迷し水道事業経営は益々厳しくなることが予測されますことから、今後は過大な投資を控えつつ、計画的な施設の更新と効率的な水運用を行うことが大切であると考

えております。

こうした状況を踏まえ、中長期的な視点に立った持続可能な水道事業の実現に向け